



# インストールガイド

**ReadyNAS**

RR4360S

RR4360X

**NETGEAR®**

# 目次

同梱内容.....	3
設置場所.....	3
本体をラックに取り付ける.....	4
注意事項.....	4
ラックの取り付け.....	5
ケーブル管理キットの取り付け.....	6
ディスクの取り付け.....	7
基本設定.....	9
ディスクの再フォーマット.....	10
追加情報.....	11

## 同梱内容

**重要:** 電源に接続する前に、お使いのシステムのハードウェアマニュアルに記載されている安全上のすべての注意事項に目を通してください。

パッケージには以下が含まれています。

- ディスクトレイ60台が含まれるRR4360シャーシ
- ラックマウントのレールキット
- ケーブル管理キット
- 電源コード10本(電源コード2本が5セット。タイプごとに1セット)
- LANケーブル
- ネジ120本(ディスクトレイをディスクにネジ留めする場合に使用)

## 設置場所

設置場所を検討する際は、以下の点にご留意ください。

- **動作温度:** 本体を密閉空間や複数の機材が入った棚に取り付ける場合、周辺温度が室温よりも高くなる可能性があります。このため、本機を定格の最高周辺温度に適合した環境に設置することを検討してください。
- **通気性の不足:** 安全な動作に必要な通気・排気量が確保されるように、本機をラックに取り付けてください。
- **機械的荷重:** 機械負荷が不均衡なことで危険な状況が生じないように、本機をラックに取り付けてください。
- **過負荷回路:** 電源回路への機器の接続と、回路の過負荷が過電流保護と電源配線に与える影響を考慮してください。この心配がある場合は、本機器のネームプレート定格を考慮してください。
- **安定した接地:** 本製品は常に安定した接地を維持する必要があります。設置を確実にするため、ラック自体を接地してください。分岐回路への直接接続以外の電源接続(延長コードの使用など)には、特にご注意ください。
- **設置場所:** 本製品は専用の機械室、サービスクローゼットなど、アクセスが制限されている場所での取り付け用に作られています。
- **前面の空間:** ラックの前面には、前面ドアを完全に開けることができるよう、十分な空間距離(約64cm)を確保してください。ラックの背面にも、十分な通気・排気を確保し、保守を容易に行えるよう十分な空間距離(約76cm)を確保してください。
- **背面の空間:** この製品はラックの一番奥ちかくまで使用します。ラックの内側に延長コードなどを配置すると、製品を完全に押し入れることができない可能性があります。

## 本体をラックに取り付ける

ReadyNASまたは拡張ディスクアレイに付属のラックマウント用レールを使用して、ラックに取り付けます。

左右のレールは完全に同じでないことにご注意ください。左のレールには「L」のシールが、右のレールには「R」のシールが付けられています。どちらのレールも、外部レール、ミドルレール、内部レールで構成されています。左右のレールの内部レールを交換しないでください。

本体をラックに取り付けている間は、ボールベアリングシャトルをミドルレールの前部にロックしたままにします。

安全な取り付けのため、少なくとも2名以上で行ってください。

**危険**：ドライブが取り付けられた本体は、34kgを超える場合があります。怪我や本体の破損を防ぐため、取り付けは数人で行ってください。ディスクを取り付ける前に、本体をラックに取り付けることをお勧めします。

## 注意事項

ラックマウントに関する以下の注意事項に従ってください。

- ラック底部の水平ジャックが完全に床まで伸びており、ラック本体の負荷がジャックにかかっていることを確認してください。
- 1台のラックに取り付ける場合は、ラックにスタビライザーを付けてください。複数のラックに取り付ける場合は、ラックを連結してください。
- ラックから部品を伸ばす際は、ラックが安定しているかどうか確認してください。
- 伸ばす部品は一度に1つだけにしてください。複数の部品を同時に伸ばすと、ラックが不安定になる場合があります。
- 本体に追加する部品に付属の電気的および全般的な安全上の注意事項を確認してください。
- レールを取り付けする前に、各部品の配置を決めてください。
- 一番重い部品をラックの一番底部に取り付け、重さの順に取り付けてください。
- 無停電電源装置 (UPS) を使用して、ReadyNASを電力サージおよび電圧ノイズから保護し、電源に不具合があったときでもシステムが稼働を続けられるようにしてください。
- ハードドライブや電源パーツに触れる際は、必ず冷めるまで待ってください。
- 冷却を保つため、修理などを行っている時を除き、ラックのフロントドア、すべてのパネル、部品は常に閉じたままにしておいてください。

## ラックの取り付け

作業を開始する前に、以下の説明をすべてお読みください。

**注意:** レールの先端は、ラックの四角い穴に合わせる必要があります。レールの取り付けに、ネジ型のレール穴は使用できません。

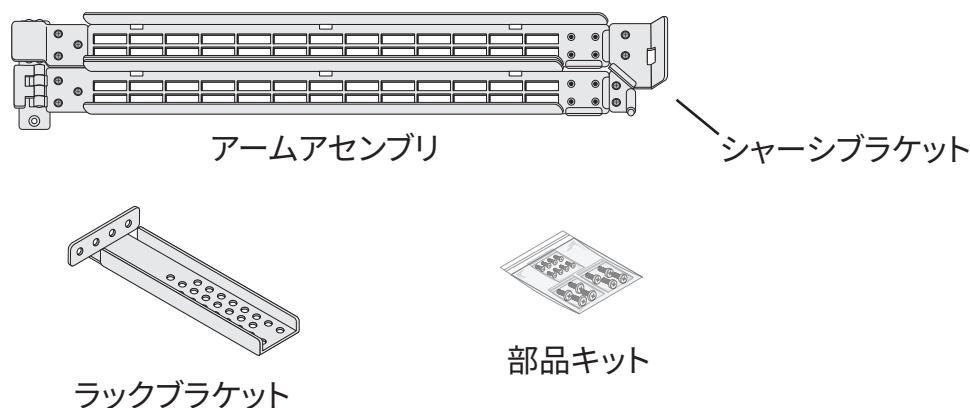
### ➤ ReadyNAS をラックに取り付けます。

1. 左側のレールの内部レールを外部レールから完全に引き出します。  
ミドルレールと外部レールは、伸ばした位置でロックされている場合があります。
2. ロッキングタブを下に押し、内部レールを外部レールとミドルレールから外します。
3. 内部レールの穴に、シャーシにあるフックを合わせて固定します。
4. レールを前にスライドして、シャーシにロックします。
5. 右側のレールで、手順1~4を繰り返します。
6. ミドルレールと外部レールがレールのどちらかにロックされている場合は、ロッキングタブを押し、ロック解除し、ミドルレールを外部レールのほうにスライドします。
7. 左側のレールとシャーシの左側で、外部レールの前面にあるフックをラックの前面の穴に引っかけて、レールを押し込んでラックに固定します。
8. 右側のレールとシャーシの右側も、同様にします。
9. 左右のレールで、外部レールの長さを調節して、外部レールの背面にあるフックをラックの背面の穴に引っかけて、レールを押し込んでラックに固定します。
10. 各レールの前面と背面で1か所ずつネジで固定します。
11. 両方のレールで、ミドルレールを前に引っ張ってロックします。
12. ミドルレールにあるシャトルをミドルレールの前部にロックします。
13. ReadyNASシャーシの向きが正しいことを確認します。
14. 二人でシャーシの内部レールとミドルレールの位置を合わせ、両端を均等に押しながら、内部レールをミドルレールとボールベアリングシャトルの方に押し、両端が全部伸びた位置でレールにロックします。
15. 同時に、シャーシの両側にあるロッキングタブを押し下げ、シャーシをラック全体に均等に押し込みます。

## ケーブル管理キットの取り付け

ケーブル管理キットは、本体をラックの背面に押したときに折りたたまれ、前面に動かすと伸ばされます。ケーブル管理キットにケーブルを付けると、ラック内での本体の動きに合わせて、ケーブルも折りたたまれたり伸ばされたりします。これにより、本体の連結部でのケーブルタギングが解消します。

ケーブル管理キットは、シャーシブラケットとラックブラケットが付属したケーブル管理アームアセンブリと、部品キットから成っています。



### ➤ ケーブル管理キットを取り付けます。

1. 3つのボルトを使用して、ラックブラケットをアームアセンブリに取り付けます。
2. 2つのボルトを使用して、シャーシブラケットをRR4360の背面左側のブラケットに取り付けます。
3. 2つのボルトを使用して、ラックブラケットをラックの背面左側のポストに取り付けます。下のボルトがラックのレール留め具から9つ上の位置にくるように、ラックブラケットを合わせます。

ラックによっては、シャフトがラックブラケットより長いネジ回しを使うと、この手順が容易にできます。あるいは、ラックレールの外側にブラケットを置いて、別の人がラックの内側からネジを回すという方法もあります。

ReadyNASのすべてのケーブル配線が終わったら、ケーブルタイを使用して、ケーブルをアームアセンブリに取り付けます。

## ディスクの取り付け

初めてReadyNASの電源を入れる前に、1～60台のディスクを取り付けてください。

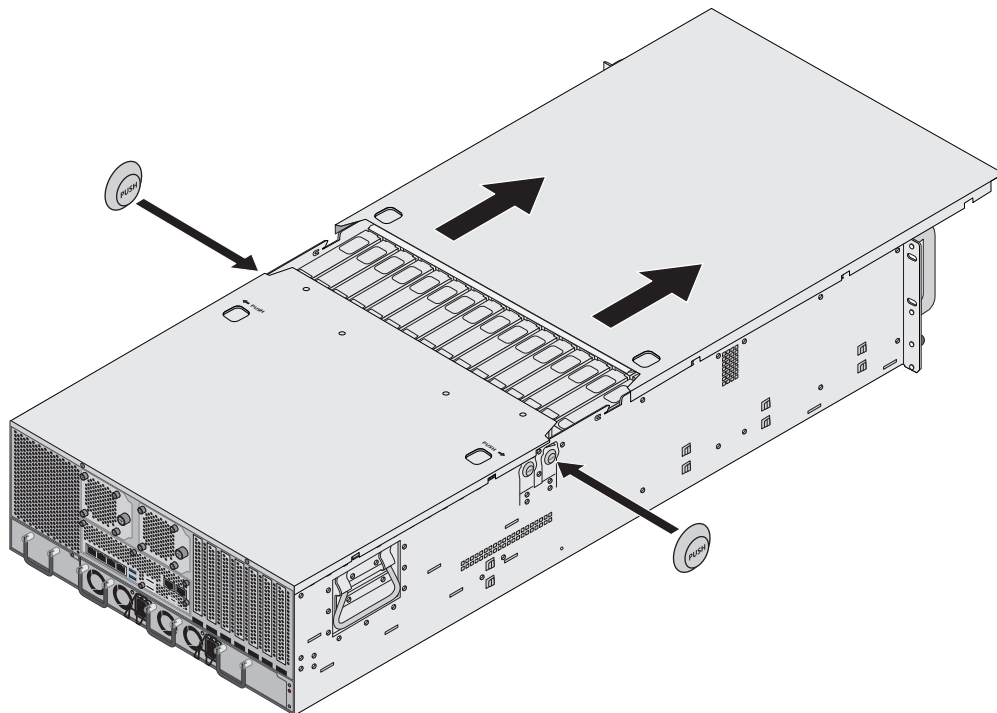
フォーマット済みのディスクを取り付ける場合は、初めてシステムの電源を入れるときに、ReadyNASを使用して再フォーマットする必要があります。ディスクの再フォーマットの詳細は、「ディスクの再フォーマット」(10ページ)を参照してください。

**注意:** ディスクを再フォーマットすると、ディスク上のデータがすべて消去されます。

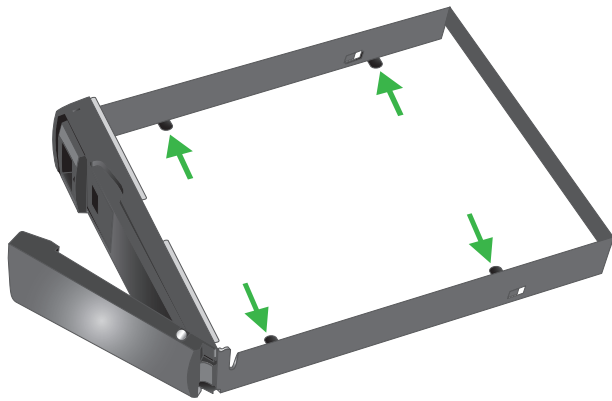
初めてシステムに電源を入れたときや、システムを工場出荷時の設定にリセットした場合は、取り付けしたディスクの数に基づいて最適な RAID モードおよびレベルが自動的に選択されます。RAID設定は、後で手動で変更することもできます。RAID設定の変更方法など、RAID設定の詳細は、『ReadyNAS OS 6ソフトウェアマニュアル』を参照してください。このマニュアルは、[www.netgear.com/support/product/ReadyNAS\\_OS\\_6](http://www.netgear.com/support/product/ReadyNAS_OS_6)のページ、または製品のユーザーインターフェースのリンクから入手できます。

### ➤ ディスクを取り付けます。

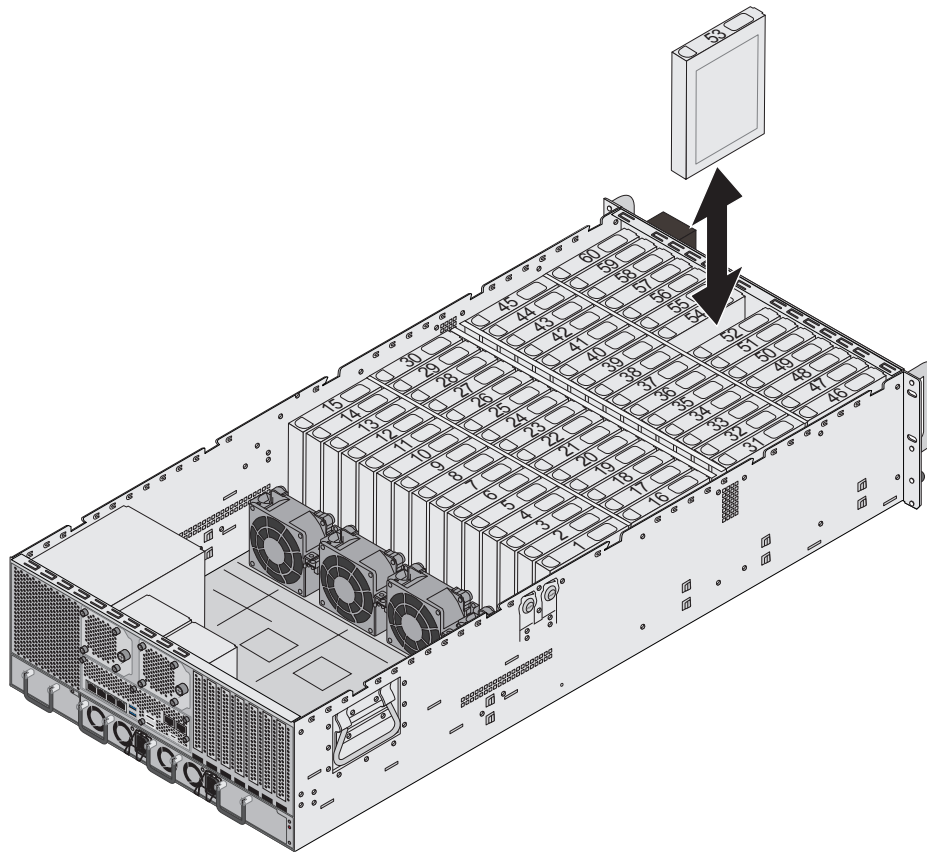
1. シャーシを前に引いて、シャーシ上部のパネルをラックから出します。
2. シャーシの両側にあるリリースボタンの前側2つを押し、上部カバーを前方にずらして持ち上げます。



3. ドライブをRR4360に付属の工具不要ディスクブラケットに挿入してにディスクを固定します。  
この図は、ドライブの取り付け穴にブラケットタブを合わせる様子を示しています。



注意: 以下の図は、ディスクの数字をシャーシ内の場所に合わせる様子を示しています。



ドライブとトレイをスロットに再挿入する際は、ドライブの重量によってドライブが収まります。



## 基本設定

以下の手順でセットアップすると、ReadyNASを実稼働環境で使用する準備が整います。セットアップにかかる時間は約15分です。

### ➤ ReadyNASをセットアップします。

- ReadyNASシステムで使用するディスクをすべて取り付けます。  
注意：データが含まれるフォーマット済みディスクを使用する場合は、そのディスクの再フォーマットが必要です。「[ディスクの再フォーマット](#)」(10ページ)を参照してください。  
対応ディスクの一覧については、ハードウェア互換性リスト ([netgear.com/readynas-hcl](http://netgear.com/readynas-hcl))を参照してください。  
ディスクの取り付けの詳細は、お使いのシステムのハードウェアマニュアル、または [www.youtube.com/watch?v=hLiu0VeXd-Y](http://www.youtube.com/watch?v=hLiu0VeXd-Y)を参照してください。
- 十分な通気を確保できる場所に ReadyNAS 本体を置いてください。  
大容量ディスクは高い熱を発生することがあります。そのため、排気ファンをふさがないようにする必要があります。設置に関する注意事項について詳しくは、ハードウェアマニュアルをご覧ください。
- それぞれの電源に電源コードを接続し、電源コードを壁コンセントやテーブルタップに差し込みます。  
注意：RR4360システムでは、電源が2つ以上必要です。
- LANケーブルを ReadyNAS のLANポートに差し込みます。
- 必要に応じて、**電源**ボタンを押してシステムの電源を入れます。
- 電源 LED が青色に点灯するまで待ちます。
- [www.netgear.com/raidar](http://www.netgear.com/raidar) にアクセスして、NETGEAR RAIDarユーティリティをダウンロードしてインストールします。  
インターネットに接続しているコンピューターにRAIDarをダウンロードして、お使いのReadyNASシステムと同じLAN上のコンピューターに、ダウンロードしたファイルを転送します。
- RAIDarを起動します。  
RAIDarが、ReadyNASのローカルのブロードキャストドメインをスキャンします。ブロードキャストドメインは、ローカルネットワークに、スイッチやリピーター経由で到達できるすべてのネットワークを加えた範囲で、ルーターを経由するネットワークは含まれません。
- RAIDarウィンドウで、お使いのReadyNASを選択します。
- [オフラインセットアップ(LAN)]** ボタンをクリックします。  
注意：ブラウザーの設定によっては、「This Connection is Untrusted (安全な接続ではありません)」などのメッセージが表示される場合があります。オプションを選択して、接続を続けます。  
[Authentication Required (認証が必要です)] ウィンドウが開きます。
- ReadyNASにログインします。  
ユーザー名「**admin**」とパスワード「**password**」を入力したら、**[OK]** ボタンをクリックします。  
ブラウザーにReadyNASのローカル管理者ページが表示されて、セットアップウィザードが開始します。
- セットアップウィザードのプロンプトに従って、ReadyNASシステムを設定します。  
セットアッププロセスが完了しました。ReadyNASストレージシステムの使用を開始できます。

## ディスクの再フォーマット

データが含まれるフォーマット済みディスクを使用する場合は、ReadyNASシステムでの使用前に、そのディスクの再フォーマットが必要です。

警告:このプロセスを実行すると、すべてのデータが消去され、すべてのディスクが1つのRAIDボリュームに再フォーマットされます。ディスク内のデータを保持したい場合は、そのディスクを ReadyNAS ストレージシステムで使用する前に、データを外部ドライブにバックアップする必要があります。

### ➤ フォーマット済みのディスクを再フォーマットします。

1. システムの電源が入っている場合は、適切な方法でオフにします。  
「追加情報」(11ページ)を参照してください。
2. フォーマット済みのディスクを取り付けます。  
対応ディスクの一覧については、ハードウェア互換性リスト ([kb.netgear.com/app/answers/detail/a\\_id/20641](http://kb.netgear.com/app/answers/detail/a_id/20641)) を参照してください。  
ディスクのインストールに関する詳細は、お使いのシステムの『ハードウェアマニュアル』をご覧ください。
3. **リセット** ボタンを長押しします。
4. **電源** ボタンを押します。  
ReadyNAS の電源が入ります。
5. **リセット** ボタンを約5秒間長押しして、システムがブートメニューになったら、ボタンを放します。  
前面パネルのライトLED 1、LED 2、LED 3が点滅します。
6. **リセット** ボタンを約1秒間長押ししたあと、次のブートモードのメニュー項目までスクロールします。
7. LED 2が点灯してLED 1とLED 3が消えるまで、リセットボタンを長押しして放すを繰り返します。
8. **リセット** ボタンを約4秒間長押しして、工場出荷時の状態へのリセットを開始します。  
2～5分間の簡易ディスクテストが開始されます。  
その後、10分間のタイムアウト時間が始まります。10分後に、工場出荷時の状態へのリセットが開始します。  
システムは工場出荷時の設定に戻り、取り付けられたすべてのディスクがReadyNAS OS 6用に再フォーマットされます。

工場出荷時へのリセットが完了すると、再フォーマットされたディスクはシステムで使用できるようになります。

## 追加情報

ストレージシステムを正常に保ち、データ損失のリスクを避けるには、以下の使用ルールを守ってください。

- システムの起動中に、一度に複数のディスクを交換しないでください。
- システムの電源をオフにする必要がある場合は、できるかぎり適切な方法でオフにしてください。

### ➤ **ストレージシステムの電源を適切な方法でオフにします。**

1. システムの前面パネルにある**電源**ボタンを押します。  
電源 LED が点滅して、シャットダウンの確認が求められます。
2. **電源**ボタンをもう一度押します。  
ReadyNAS が安全にシャットダウンされます。

システムのセットアップ、設定、使い方の詳細は、該当するソフトウェアおよびハードウェアのマニュアルを参照してください。これらのマニュアルは、[www.netgear.com/support/product/ReadyNAS\\_OS\\_6](http://www.netgear.com/support/product/ReadyNAS_OS_6) から、または製品のユーザーインターフェースのリンクから入手できます。

## サポート

NETGEAR製品をお選びいただきありがとうございます。

[www.netgear.com/support](http://www.netgear.com/support) から、本製品の登録、サポート情報の入手、最新のダウンロードとユーザーマニュアルの入手、弊社コミュニティへの参加ができます。正式なNETGEARサポートのリソースのみをご利用になるようお勧めします。

## 商標

© NETGEAR, Inc., NETGEAR、およびNETGEARのロゴはNETGEAR社の商標です。NETGEAR以外の商標は参照目的のためにのみ使用されています。

## 適合性

現在のEU適合宣言については、以下をご覧ください。

[http://kb.netgear.com/app/answers/detail/a\\_id/11621](http://kb.netgear.com/app/answers/detail/a_id/11621)

各種規格との適合については、以下をご覧ください。

<http://www.netgear.com/about/regulatory/>

本製品をお使いになる前に、各種規格との適合に関する文書をご覧ください。



201-21836-01  
2017年4月

NETGEAR®

ネットギアジャパン合同会社